

3歳児健康診査（集団健診）で 目の屈折検査を実施します！

市川市では、子どもの弱視等を早期発見し、適切な治療につなげるため、これまで実施していたご自宅での視力検査（ランドルト環）に加えて、3歳児健康診査（集団健診）での屈折検査を令和6年8月より導入しました。

屈折検査とは？

目のピントが合うために必要な度数（屈折）を調べる検査です。



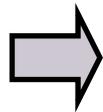
屈折検査の様子

【屈折検査で分かること】

遠視や乱視といった屈折異常や斜視などのリスクの有無が分かります。 屈折検査だけでは全ての視覚の異常を発見できるわけではないので、視力検査の精度向上のため問診票と自宅での視力検査（ランドルト環）との併用が重要です。

検査の流れについて

問診票を記入し、ご自宅で視力検査（ランドルト環による）を実施します。



3歳児健康診査（集団健診）で目の屈折検査を実施します。同封の「3歳児健康診査のご案内」に記載の指定日時にお越しください。

検査の対象とならない方：

- ・既に内科健診等で屈折検査を実施した方
- ・光感受性発作をお持ちの方（医師へご相談ください）

～お願い～

あらかじめご自宅で問診票をご記入の上、視力検査をお済ませになってから集団健診の会場へお越しください。

ご自宅での検査が未実施だった場合、順番が前後したり、健診にかかる時間が長くなる可能性がありますのでご了承ください。

【3歳児健康診査(集団健診)での検査方法】

スポットビジョンスクリーナーというカメラのような形をした機器でお子さんの目を映して測定します。痛みは伴いません。



スポットビジョンスクリーナー

屈折検査で異常を指摘されたら…

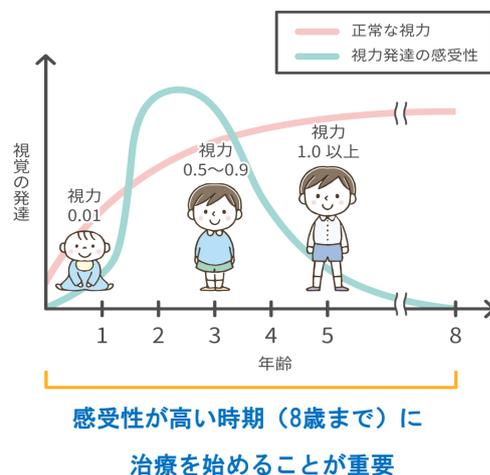
屈折検査で異常があった場合、より詳しい検査を受けるために、委託医療機関への紹介状(精密健康診査受診票)を発行させていただきます。

※この屈折検査だけで診断をするものではありません。

※精密健康診査の必要性のみを判定する簡易検査につき、集団健診において結果に関する詳細説明は致しかねます。

☆どうして目の検査が必要なの？☆

こどもの視覚は生まれてから6～8歳くらいまで発達し、5～6歳ごろには大人と同じ視力になると言われています。この時期に遠視や乱視などの屈折異常や斜視などの目の異常の早期発見・早期治療が遅れると、視力の発達が止まって弱視となってしまうことがあります。5歳までに治療することで効果が高まり、ほとんどのお子さんに視力の改善を認めます。



【お問い合わせ先】

市川市こども家庭相談課 047-377-4511 (平日8:45~17:15)

南行徳こども家庭センター 047-359-8785 (平日8:45~17:15)